

議 題 (1)

【審議事項】

役員を選任について

(参考)

・大阪府原子炉問題審議会規則第5条第2項

「会長及び副会長は、委員のうちから委員が選出する。」

議題 (2)

【報告事項】

京都大学原子炉実験所の安全性等について

資料1

京都大学原子炉実験所の安全性等について

東京電力福島第一原子力発電所で発生した原子力災害を踏まえ、京都大学原子炉実験所の研究用原子炉（KUR）の安全性等について、次のとおり対応しております。

1. 施設・設備の基幹整備について

前回の本審議会において、ライフラインの整備計画についてご説明しておりますが、KUR用スタック（排気塔）の更新や放射性廃水用排水管の2重化の工事など平成26年3月末で終了いたしました。種々ご迷惑・ご心配をおかけしたことと思っておりますが、皆様方のご理解・ご協力に大変感謝いたしております。

2. 原子力規制委員会への対応について

原子力規制委員会により、平成25年12月18日付けで試験研究用等原子炉施設の新規制基準が施行されました。この新規制基準のポイントと原子炉実験所における対応は次のとおりです。

ポイント1：多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止を追加要求

対応：安全評価において設計基準を超える事象を想定した評価を行い、燃料の破損防止あるいはその拡大防止策が有効であることを確認する。具体的には、全電源喪失による冷却機能の喪失、配管破損及び給水失敗による冠水維持機能の喪失を想定した評価を行い、外部給水系（耐震40トン水タンク、可搬式消防ポンプ）等のこれまでに準備した対策が有効であることを確認する。その他の異常事象についても、これまでの安全評価で作動を期待していた安全機能（停止機能、冷却機能）が作動しない場合を想定した安全評価を行う。

ポイント2：地震・津波の評価方法を厳格化

対応：地震、津波について、発電炉に準じた手法による評価を行う。地震に関しては、「耐震バックチェック」において実施した評価手法、結果が適用できる。一方、津波については、立地

条件から影響がないことを確認する。この他、影響を評価すべき外部事象として、竜巻、火山、外部火災などがあるが、これらの評価も発電炉に準じて行い、いずれの事象もKURの安全性に影響を及ぼさないことを確認する。

ポイント3：外部人為事象（第三者の不法な接近）等に対する考慮を明確化

対応：第三者の不法な接近に対しては、これまでの核物質防護対策により対応できることを確認する。この他、航空機落下確率については、発電炉の手法を用いた評価を行い、発生確率が十分小さいことを確認する。

ポイント4：敷地内の外部研究者や見学者等に対する事故の発生の連絡や必要な指示を行うための対策を要求

対応：外部研究者や見学者等への連絡・指示については、一斉放送や所内担当者からの連絡等、現状の手法により、対応可能であることを確認する。

以上のポイントを主とした新規制基準に適合するための原子炉施設の設置変更承認申請を、近日中に原子力規制委員会へ提出したいと考えております。本変更において新たに設備類を変更することはなく、これまでに設置した設備類を申請書に追加記載するなど記載上の変更のみです。ただし、申請後の原子力規制庁による審査の結果によっては設備類の変更が必要となる場合があります。

なお、KURは5月26日から施設定期検査期間中であり、この期間中に新規制基準への適合確認を受ける予定としています。また、KURの炉心タンク等の健全性については、並行して調査を行い、問題がないことを確認する予定です。

3. 使用済燃料について

KURの使用済燃料につきましては、米国が使用済燃料の引取期間を10年間延長することになりました。これにより当分の間運転を継続することが可能となりましたので、引き続きホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の推進や共同利用研究の進展に寄与して行きたいと考えております。

なお、当面は、平成31年度までの研究計画（日本学術会議マスタープラン）に基づき運転してまいります。今後の計画については、KURの健全性調査の結果や研究の進捗状況とともに、日本学術会議の提言（平成25年10月）等を勘案して、関係各機関とも協議して決定する予定です。

議 題 (3)

【報告事項】

京都大学原子炉実験所定例報告について

資料2

[京都大学原子炉実験所の現状報告書(定例報告)内訳]

・現状報告書(定例報告) (その1)

原子炉の運転状況(平成25年6月～平成26年5月)
平成26年度共同利用研究及び研究会の採択状況

・現状報告書(定例報告) (その2)

京都大学原子炉実験所における環境放射能測定報告
(平成25年4月～平成25年9月)

・現状報告書(定例報告) (その3)

京都大学原子炉実験所における環境放射能測定報告
(平成25年10月～平成26年3月)

平成26年度

京都大学原子炉実験所

議 題 (4)

そ の 他